

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスプレミアム城南		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同グループの放課後等デイサービスを長期的にご利用頂いているご利用者様、また同じ学校に通っている児童が多く、それぞれ同級生であったりデイサービスで過ごすうちに、お互いの特性を知る事によって子ども同士及び職員と子ども達の信頼関係を築けている。	職員の役割のほかに、異性間の関わり方、子ども達の中にも役割を作る事。ソーシャルスキルトレーニングにより生涯自立にも繋がる自主性を育みながら、人との関わり方を知る事。	これまで児童がそれぞれ単独で行っていた活動を、こどもの成長に合わせ少しずつより高度な物に切り替えたり、将来を想定してグループや複数で行う活動を取り入れ、お互いに支えあう心を育てる。
2	保育士などの専門知識をもったスタッフが多い。	事例検討会や日々のミーティングで、子ども達一人一人の特性に合わせた様々な支援をスタッフそれぞれが考え、発信出来る場を設けている。	児童発達支援管理責任者などの資格取得の機会を利用しスタッフのスキルアップに繋げていく
3	職員の定着率が高く、長期的に児童に関わる人材が多い事それにより、ご利用者様が安心して児童を預けて頂けること。	児童に対して優しく接するためには職員のプライベートが充実している事も必要、との視点から上長による定期的な面談を行い、職務上の悩みが無いかなど個別に話を聞いています。	上長と職員だけでなく職員間でも、相談し合ったり悩みを共有したりと、お互いを知り安心して働ける環境を拡充していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	昨夏に事業所移転をした事も重なっているかと考えますが、事業所の環境など、普段の様子などがわからないとのアンケート結果が出ました。	子ども達が屋内に居る状況でのご見学は、他の子ども達が不穏になる場合もある事など配慮した場合、子ども達が不在の際にご見学頂く事が中心となってしまう	毎月の新聞やホームページなどで、屋内のご様子をよりわかりやすくお伝えするように工夫します。
2	毎月のご予約に際して、事業所の一日の利用定員を超えてのご利用はもちろん出来ないため、特に土日祝日についてご利用希望が多く、多数のご利用者様に日程変更などに応じて頂いている事。	比較的土日祝日に偏りがあるが、全体的に予約数が超過になりやすい傾向にある。特に学校の無い土日祝日のご利用ニーズに広く応じたいが、利用定員に関して違反は出来ない為断念している。	ご利用者様が多い日について、他の事業所を紹介するなどの検討を進めて行きます。
3	保護者懇談会で支援プログラムのご説明をさせていただきご理解頂きましたが、その内容について残念ながら当日参加出来なかった保護者様に、改めて配布した支援プログラム資料の内容が十分に伝わっていなかった	送迎時などの時間が限られた中でのご説明だけでは、支援プログラムの十分な周知に繋がっていなかった。	今回のアンケートにて大人数の保護者会だけでなく個別やグループでの面談も希望された経緯もあり、ホームページのご案内や個々の面談を通じて早々に支援プログラムの周知徹底を図ります。